

問二

① あなかんむり

② イ

問四

① 力

② ウ

問五
ウ

問六
工

問七
ア

問二
一
I
イ
II
ア
III
オ

問二
工

問三
それぞれの
S
要なツール

問四
1 自分の利益
2 無茶苦茶

問五 誰もが安全に確実に、事故に遭うよりはずっと早く目的地にだどりつくこと

問六
工

問七 規範意識

問八 ルールがなく、何でも好き勝手にしてよい状態。

問九
イ・エ

問一 第二…放課後の練

問二 手本となる先輩はいない(点)

問三

(1) ウ

(2) エ

サッカー部の実質的な顧問になってしまったこと。

リーダーシップ

問六 自主的に

問七
ア

問八ぬるま湯

問九

解説

本文のはじめのほうで『何でも好き勝手にやればいい』ということが自由だとしたら、無茶苦茶なことになっ

参照してまとめましょう。

問 四

遠介が放課後、顧問の湯浅に職員室に呼ばれた場面で「サッカー選手としての経験もないし、監督としての経験もない」が「サッカー部顧問のなり手がいなかった。」ので引き受け、もう一人の顧問が進路指導を受け持っているうえ女性だったことで「実質的な顧問という立場になった」という事情を聞かれています。